

第2期
潟上市スポーツ推進計画

(案)

秋田県 潟上市教育委員会

目 次

第1章 計画策定の基本的な考え方

- 1 スポーツの果たす意義と役割・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- 2 計画策定の趣旨と位置づけ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- 3 計画の期間・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
- 4 潟上市の概況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2

第2章 スポーツの現状と課題

- 1 スポーツを取り巻く社会情勢と役割・・・・・・・・・・・・・・・・ 7
- 2 生涯学習・スポーツに関する市民意識調査・・・・・・・・・・ 7
 - (1) アンケート調査の回収率及び年代等・・・・・・・・・・・・ 8
 - (2) 過去1年間の運動について・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8
 - (3) 運動やスポーツを行う目的・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8
 - (4) 運動やスポーツをしていない理由・・・・・・・・・・・・・・ 8
 - (5) 入会しているクラブ・サークル・同好会・・・・・・・・・・ 9
 - (6) スポーツ推進を図るうえで市が力をいれるべき点は何か・・ 9

第3章 基本政策と具体的展開

- 1 子どものスポーツ活動の推進・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10
- 2 誰もが気軽に楽しめるスポーツ活動の推進・・・・・・・・・・ 11
- 3 スポーツを通じた地域づくりと交流人口・関係人口の拡大・・ 13
- 4 競技力向上を目指す選手の育成・強化・・・・・・・・・・・・ 13
- 5 スポーツ施設の適切な管理運営・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 14

第4章 計画実現に向けた推進体制

- 1 推進主体の役割・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 17
- 2 計画の進捗状況の検証と計画の見直し・・・・・・・・・・・・ 17

資料編

第1章 計画策定の基本的な考え方

1 スポーツの果たす意義と役割

東京2020オリンピック・パラリンピックでは多数のメダルを獲得し、新型コロナウイルス感染症により社会が困難を抱える中、人々が大きな感動と喜びを感じることであり、改めてスポーツの力を確認する機会となるとともに、様々な障がいのあるアスリートたちが創意工夫を凝らして限界に挑むパラリンピックは、世界中の人々が多様性と調和の重要性を認識し、共生社会をはぐくむ契機となりました。

「スポーツ※1」は、「する」「みる」「ささえる」ことを通じて人々が感じる「楽しさ」「喜び」を根源とする身体活動であるほか、心身の健全な発達、健康、体力増進、精神的な充足感を獲得することにつながるものであり、これこそが「スポーツの価値」であると言えます。加えて、スポーツは、健康問題やコミュニティの弱体化、少子高齢化など、深刻化する社会課題の解決に寄与するものとして、幅広い役割が期待されています。

すべての市民が生涯にわたってスポーツに親しむことは、人生を豊かで充実したものにするとともに、共生社会の実現や元気で活力ある秋田の創造につながる大きな意義をもつものであり、「スポーツ立県あきた」宣言の趣旨を踏まえ、スポーツに関する施策を総合的かつ計画的に推進することが必要となっています。

※1 スポーツには、オリンピック・パラリンピック競技種目のようなものだけでなく、散歩やダンス・健康体操、ハイキング・サイクリングなど、野外活動やスポーツ・レクリエーション活動も含まれる。また、新たなルールやスタイルで行うニュースポーツも注目されるようになってきている。

2 計画策定の趣旨と位置づけ

平成23年6月に「スポーツを通じて豊かな生活を営むことは全ての人々の人権である」ことを明記した『スポーツ基本法』が制定されました。この法律では、スポーツを取り巻く現代的課題をふまえてスポーツに関する基本理念を定め、国・地方公共団体の責務やスポーツ団体等の努力等を明らかにするとともにスポーツに関する施策の基本となる事項を規定しています。

本市においては、国の「スポーツ基本計画」や「第4次秋田県スポーツ推進計画（スポーツ立県あきた推進プラン2022-2025）」を参酌しながら、第2次潟上市総合計画後期基本計画及び第4次潟上市生涯学習推進計画基本目標基本政策に掲げている「スポーツ活動の推進」を具現化するとともに市の特性に合わせた施策を策定するものです。

また、目標達成に向け関係団体等と連携・協働し推進していくための計画として本計画を位置づけます。

3 計画の期間

計画の期間は、2024年度から2027年度までの4年間とし、必要に応じて見直しを行います。

4 潟上市の概況

本市は秋田県のほぼ中央の沿岸部に位置し、東は井川町、南は秋田市、西は男鹿市と隣接し、北は八郎湖を挟んで大潟村と接しています。

東部は南北に縦走する国道7号の周辺に小高い丘陵（女川層）が多数連なっており、出羽丘陵に続いています。中央部及び北部は秋田平野の北辺部として八郎湖に向かって広大な田園地帯が広がっており、肥沃な穀倉地帯となっています。西部は県内有数の3本の砂丘群が連なっているほか、日本海に面した沿岸部は、秋田市から続く海岸砂丘となっており、秋田県の保健保安林に指定されています。砂丘群の間は集落や畑地、樹園地として活用されています。また、本市は秋田自動車道、日本海沿岸東北自動車道等高速交通体系が整備され、秋田空港から車で30分程度の距離にあるなど首都圏へのアクセス性も高まっています。さらに、県都秋田市に隣接したベッドタウンという都市的な特性と広大な田園風景に代表される豊かな自然環境を併せ持っており、こうした恵まれた地勢を生かした魅力あるまちづくりが期待される地域です。

(1) 人口

国勢調査によると本市の人口は、三町が合併した2005年（平成17年）の35,814人をピークに徐々に減少し、直近の2020年（令和2年）の調査では、合併時より4,094人少ない31,720人となっています。

こうした傾向は今後も続き、人口の動向分析や将来展望をまとめた「潟上市人口ビジョン」では、総人口は2025年に30,074人、2030年に28,528人になるものと予測しています。

(2) 面積

本市の面積は、97.72㎢と県内25市町村中23位にあたり、13市の中では一番小さな市です。コンパクトであることから、コミュニティとしてまとまりやすいという比較的恵まれた条件にあります。

(3) 学校・保育園等

本市の小学校は、天王地区に4校、昭和地区と飯田川地区に各1校あります。中学校は天王地区に2校、昭和・飯田川地区に1校あります。

保育園等は、5園で天王地区3園、昭和地区1園、飯田川地区1園となっています。

潟上市小学校児童数の推移（R 1～R 5 学校基本調査による）

（単位：
人）

学校名	R 1	R 2	R 3	R 4	R 5
天王小学校	363	342	312	318	315
出戸小学校	201	215	199	190	187
東湖小学校	86	74	69	67	62
追分小学校	368	387	412	447	494
大豊小学校	235	211	210	211	200
飯田川小学校	168	163	152	155	158
合計	1,421	1,392	1,354	1,388	1,416

潟上市中学校児童数の推移（R 1～R 5 学校基本調査による）

（単位：
人）

学校名	R 1	R 2	R 3	R 4	R 5
天王中学校	254	254	262	241	216
天王南中学校	299	263	283	276	292
羽城中学校	229	217	219	210	193
合計	782	734	764	727	701

潟上市保育児童数（R 1～R 5 潟上市福祉事務所福祉の概要による）

（単位：人）

区分	R 1	R 2	R 3	R 4	R 5
二田保育園	80	84	78	—	—
湖岸保育園	70	62	60	—	—
出戸こども園	159	153	136	124	118
追分保育園	166	176	151	157	163
昭和こども園	148	143	123	116	121
若竹幼児教育センター	89	90	86	78	73
天王こども園	—	—	—	185	168
合計	712	708	634	660	643

(4) スポーツ施設

本市には、体育館、野球場、テニスコート、プール、グラウンドゴルフ場など、さまざまなスポーツ施設があり多くの市民がスポーツ・レクリエーション活動を楽しんでいます。また、スポーツを始めるきっかけづくりやコミュニティ活動の促進を図るべく各種大会を開催しています。

施設名	所在地	電話
天王総合体育館	潟上市天王字持長根 93 番地 1	(一社) 市体育協会 (指) (878-3232)
昭和体育館	潟上市昭和久保字元木田 179 番地	(一社) 市体育協会 (指) (877-6904)
飯田川体育館	潟上市飯田川下虻川字八ッ口 82 番地	(一社) 市体育協会 (指) (877-4959)
飯田川ふれあいスポーツ会館	潟上市飯田川和田妹川字岩崎 8 番地 4	(一社) 市体育協会 (指) (877-4146)
天王B&G海洋センター (体育館)	潟上市天王字羽立片山 254 番地 2	(一社) 市体育協会 (指) (877-6955)
天王B&G海洋センター (プール)	潟上市天王字持長根 93 番地 2	878-9202
飯田川B&G海洋センター (プール)	潟上市飯田川和田妹川字岩崎 2 番地 5	877-4146
天王B&G海洋センター (艇庫)	潟上市天王字天王 281 番地内	—
鞍掛沼公園多目的広場 (陸上競技場)	潟上市天王字蒲沼 92 番地 8	パークセンター (指) (870-6005)
フットボールセンター	潟上市天王字蒲沼 30 番地	パークセンター (指) (870-6005)
長沼球場	潟上市天王字長沼 144 番地 1	パークセンター (指) (870-6005)
長沼球技場	潟上市天王字上北野 4 番地 64	パークセンター (指) (870-6005)
長沼テニスコート	潟上市天王字上北野 4 番地 283	パークセンター (指) (870-6005)
元木山陸上競技場	潟上市昭和久保字元木山根 118 番地	パークセンター (指) (870-6005)
元木山球場	潟上市昭和久保字元木山根 118 番地	パークセンター (指) (870-6005)
飯田川南公園グラウンド (野球場)	潟上市飯田川下虻川字蟹沢 12 番地 1	パークセンター (指) (870-6005)
天王多目的健康広場・グランパスくらかけ管理棟 (グラウンドゴルフ場)	潟上市天王字蒲沼 92 番地 11	パークセンター (指) (870-6005) グランパスくらかけ (878-7277)
飯田川二荒山グラウンドゴルフ場	潟上市飯田川下虻川字蟹沢 12 番地 1	パークセンター (指) 877-3255
天王中央庭球場	潟上市天王字持長根 93 番地 3	(一社) 市体育協会 (指) (878-3232)
天王剣道場	潟上市天王字宮の後 1 番地 5	文化スポーツ課 (853-5363)
天王柔道場	潟上市天王字宮の後 3 番地 1	文化スポーツ課 (853-5363)
昭和武道館	潟上市昭和久保字元木田 160 番地 1	—
天王一向球場	潟上市天王字一向 67 番地 1	文化スポーツ課 (853-5363)
天王湖岸球場	潟上市天王字羽立片山 254 番地 1	文化スポーツ課 (853-5363)
天王緑の健康広場・テニスコート	潟上市天王字鶴沼台 43 番地 220	文化スポーツ課 (853-5363)
野村多目的運動広場	潟上市昭和久保字北野白洲野上 37 番地 1	文化スポーツ課 (853-5363)

上二田運動公園	潟上市天王字持谷地 198	文化スポーツ課 (853-5363)
昭和介護予防センター	潟上市昭和久保字堤の上 1 番地 3	877-7785

(5) スポーツ団体

本市の体育協会は、令和 2 年度に法人化し、18 の競技団体においてそれぞれの種目の普及・強化に努めております。従来、市が主催していたスポーツ事業も移管事業として実施するなど、本市のスポーツ事業を牽引しています。現在、より一層の社会体育の普及発展と競技力向上を図り、健康・体力づくり及びスポーツ文化の発展に寄与するためには組織力の強化が必要と考えます。

スポーツ少年団は、令和 5 年 4 月現在で 28 団、団員 502 人、指導者 185 人となっています。また、海洋性スポーツ・レクリエーション事業を中心に実践活動を通じ、海事思想の普及と体力向上をめざす天王 B&G 海洋クラブ員は 40 人となっています。

市スポーツ推進委員は 20 人により各種スポーツ事業に尽力しています。また、地域に根ざした自主的なスポーツクラブとして活動する「総合型地域スポーツクラブ」は市内に 3 クラブ（天王 2、昭和 1）あり、各地域でスポーツ活動を展開しています。

体育協会加盟団体一覧

(R 5 年 4 月現在)

NO	団体名	NO	団体名	NO	団体名
1	グラウンドゴルフ協会	7	テニス協会	13	卓球協会
2	剣道連盟	8	バスケットボール協会	14	サッカー協会
3	ゴルフ協会	9	バドミントン協会	15	レスリング協会
4	柔道連盟	10	バレーボール協会	16	スキー協会
5	相撲連盟	11	野球協会	17	射撃協会
6	ソフトテニス協会	12	陸上競技協会	18	ペタンク協会

スポーツ少年団一覧

(R5年4月現在)

NO	団名・団員数	NO	団名・団員数	NO	団名・団員数
1	東湖ミニバス 8	11	追分剣道 7	2	羽城柔道 18
2	天王剣道 2	12	追分フライングラ ビッツMBC 13	22	追分RC 88
3	天王柔道 22	13	追分野球 21	23	天王キッズクラ ブ 10
4	天王バスケットボ ール 13	14	昭和剣道 8	24	潟上バレーボー ル 20
5	天王女子ミニバス 13	15	昭和レスリング 13	25	追分勲武館レス リング 14
6	天王ヴィクトリー ズ野球 21	16	大豊男子ミニバス ケットボール 13	26	羽城ジュニア野 球 17
7	出戸剣道 5	17	飯田川レスリング 13	27	羽城V-W I N G S 女子バスケ ットボール 25
8	出戸ミニバスケッ トボール 12	18	飯田川剣道 11	28	潟上JFC 35
9	出戸野球 18	19	飯田川ラグビース クール小等部 26		
10	出戸浜ラグビー 26	20	飯田川ラグビース クール中等部 10		

第2章 スポーツの現状の課題

1 スポーツを取り巻く社会情勢と役割

近年、2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催、世界を舞台に日本選手が活躍する勇姿などにより市民のスポーツに対する関心も高まる中、県においても「スポーツ立県あきた」を宣言し元気で活力ある秋田をめざしています。また、健康に対する意識の高まりなどにより健康づくりやスポーツに対するニーズが年々多様化しています。

一方で、新型コロナウイルス感染症の影響により、スポーツを取り巻く環境も変化し、安心・安全なスポーツライフの実現に向けた取組が必要です。

このような中、本市ではスポーツの力で健康づくりや仲間づくり、地域活性化を図るため令和3年度から新たにスポーツ体験型イベント「スポーツフェスティバル」を開催したほか、平成25年度から住民総参加型の全国イベント「チャレンジデー」に参加しています。

また、市体育協会やスポーツ推進委員等と連携を図りながら、各スポーツ施設を活動拠点に市民がスポーツ・レクリエーション活動に参加できるよう、各種セミナー・大会等を開催しています。

健康は「適度な運動とバランスのとれた食事が大切」といわれていますが、生活習慣病とその予備軍の増加や精神的なストレスなど、健康に不安を抱える市民が増えている中、心身ともに健全な生活を送るために生涯スポーツのさらなる普及・定着を図る必要があります。

スポーツは体力増進や健康・仲間づくりだけでなく、青少年の健全育成や地域コミュニティの形成などの役割を担っており、スポーツ振興の必要性は重要となってきています。

2 生涯学習・スポーツに関する市民意識調査

本市では、令和4年度に「第4次潟上市生涯学習推進計画」を策定しました。この計画は「次代の人が育つ生涯学習都市」をめざしすべての市民が心豊かに暮らし生涯にわたって学び文化的な活動が活発に行えるよう、潟上市の生涯学習行政の方向性を明確にするために策定されました。

計画策定にあたっては、市民の意見を反映させるべく18歳以上の市民の中から2,000名を無作為に選定し、生涯学習及びスポーツに関するアンケート調査を行っています。その結果を参考にしながら本市スポーツ推進計画を策定したものです。

(1) アンケート調査の回収率及び年代等

アンケート調査の回収率は38%759名で、内訳は男性281名、女性473名、無回答5名となっています。

年代別では、10代6名、20代36名、30代89名、40代113名、50代139名、60代176名、70代193名、無回答7名と60代と70代で回収率の49%を占めています。

仕事別では、勤め人が284名・37%、無職148名・20%、自営業136名・18%が上位を占めており、居住地区別では、天王地区503名・66%、昭和地区141名・19%、飯田川地区94名・12%、無回答21名・3%となっています。

(2) 過去1年間の運動やスポーツについて

「過去1年間に運動やスポーツをしましたか。」の設問に対し、回答した男女749名中「はい」と答えた人は375名、「いいえ」と答えた人は374名でした。

実施した運動やスポーツの中で一番多いのは、犬の散歩や買い物を含めたウォーキングの148名・39%で、2位の体操（ラジオ体操等）の25名・7%を大きくリードしています。実施頻度については、週3回以上が147名・39%、週1～2回が129名・34%となっています。

また運動方法は、個人的に行う方が295名・79%を占めています。

(3) 運動やスポーツを行う目的

運動やスポーツを行う目的については「健康・体力づくり」「運動不足解消」「楽しみ・気晴らし」の3項目で全体の73%を占めており、健康志向を目的にしていることが分かります。

(4) 運動やスポーツをしていない理由

過去1年間に運動やスポーツをしていない方で一番多いのは「仕事や家事が忙しくて時間がない」と答えた方が374名中161名で全体の43%を占めています。

また「始めるきっかけがない」は78名21%、「特に理由がない」90名24%が上位を占めておりスポーツ振興を図るうえでどのように「きっかけづくり」をしていくかが今後の課題でもあります。

(5) 入会しているクラブ・サークル・同好会

運動やスポーツをサークル・同好会などに入会して行っている方は、全体（717名）の17%（120名）と少ないですが、どのようなサークルや同好会等で活動しているか見てみると、友人や仲間等で構成しているクラブ・サークルが61%と一番多く、次いで地域や地区のサークル等で32%となっており気軽に参加できるクラブ・サークルに入会していることがわかります。

また運動やスポーツをサークルや同好会等で行っていない方は、597名83%で「今後も参加したいと思わない」と答えた方は404名56%と組織に属しないで個々で行う趣向の方が多いと伺えます。

(6) スポーツ推進を図るうえで市が力を入れるべき点は何か

この設問に対しては、回答者1,189名中（複数回答）226名19%の市民が「スポーツ施設の整備が必要である」としています。また「健康・体力相談やトレーニング指導、スポーツ教室やイベント、指導者の育成・確保、情報発信の強化」に力を入れるべきとした市民は840名71%を占めており施設整備より各種事業の充実が求められる結果となっています。

第3章 基本施策と具体的展開

1 子どものスポーツ活動の推進

【現状と課題】

少子化の進展により、地域内で運動やスポーツ、遊びなどで体を動かす機会が少なくなりました。

スポーツは、子どもたちにとって体力向上はもとより心身の健全な発達を促し、特に自己責任や克己心・フェアプレイの精神を養うとともに仲間や指導者との交流を通じながら、子どもたちのコミュニケーション能力を育成し豊かな心と他人に対する思いやりの心を育むなど、子どもたちの大きな成長の糧となっています。

一方、運動をする子どもとしない子どもの二極化が見られるなど子どもを取り巻く環境への配慮が重要となっています。

【施策の展開】

(1) 運動・遊びに親しむ機会づくり

- 子どもの体力向上のためスポーツ少年団への加入促進を図るとともに、ジュニアスポーツ大会や体験型スポーツイベント等を開催しスポーツに取り組むための「きっかけづくり」に努めます。
- 親子で気軽に運動や遊びに親しむことができるようスポーツ教室を開催します。
- 恵まれた海水面を活用したヨット・カヌー等の海洋性スポーツの普及に努めます。
- トップスポーツチームの選手等によるこども園等への訪問活動を行い、幼児期からスポーツを身近に感じる環境づくりに努めます。

(2) 安全対策とスポーツ環境づくり

- 体育協会や総合型地域スポーツクラブ、海洋クラブなどのスポーツ団体と連携し、親子でできる運動教室の開催や情報提供を図ります。
- 指導においては、特に心身への負担軽減や生活リズムへの影響を考慮し短時間で効果的な練習方法やけがの予防と安全面での配慮が必要です。このため、身近な指導者の発掘・情報の提供や研修会を実施し指導者の育成確保に努めます。
- 地元出身や地域で活躍するアスリートが、将来において地域のスポーツ指導者として携わることのできる環境の整備と仕組みづくりに努めます。
- 中学校部活動の地域移行について、関係団体と連携しながら中学生のスポーツ環境の整備に努めます。

2 誰もが気軽に楽しめるスポーツ活動の推進

【現状と課題】

スポーツは、心身の健全発達や体力の保持・増進など生涯にわたり健康で文化的な生活を営むうえで重要です。また、県では「健康寿命日本一」を目指し、スポーツを通じた健康増進を図ることを示しており、本市においては、生涯を通じて誰もが参加しやすいスポーツ・レクリエーション活動のため、体育協会やスポーツ推進委員等と連携し市内の各体育館や屋外運動施設を拠点に各種大会やセミナーを開催しています。

また、潟上市生涯学習・スポーツに関する市民意識調査においては、健康・体力相談やトレーニング指導、各種スポーツ教室・イベントの開催などの要望がある一方、新型コロナウイルス感染症の影響等により、スポーツ活動を新しい生活様式を意識した、組織に属さないで個人で行う傾向にあることから、指導者の育成・確保と市民ニーズに合わせたスポーツ機会の創出により、スポーツ参画人口の拡充を図る必要があります。

誰でも気軽にスポーツができる環境を広げるため住民主体による自主・自立した総合型地域スポーツクラブにおいては、会員数の減少と会員の高齢化が進んでおり、会員の確保やマネジメントスタッフの育成が課題です。

【施策の展開】

(1) スポーツ団体の育成・支援

- スポーツ少年団及び海洋クラブの体制整備の強化に努めるとともに、法人化となった体育協会の組織基盤の強化を図るための支援を進めます。
- 日常的にスポーツに親しむことができる環境づくりのため、総合型地域スポーツクラブの育成や支援に努めます。また、体育協会やスポーツ推進委員と連携を強化し同クラブが地域スポーツ活動の拠点となるよう活動環境の整備を図ります。

(2) 日常スポーツの推進・情報提供

- 市民の体力づくりや地域間交流が活発に図られるよう、スポーツ関係団体と連携し、ニュースポーツの紹介や各種大会・イベントを開催します。また、これらの大会を支えるボランティアの確保や育成、情報提供に努めます。
- 天王総合体育館のトレーニングルーム利用促進のため、各種教室の実施と情報提供に努めます。
- 気軽にスポーツに親しむための活動拠点として、総合型地域スポーツクラブの活動状況や生涯スポーツ普及のため広報等を活用した情報の周知を図ります。
- ホームページ及び SNS を活用した情報発信を行い情報提供に努めます。

(3) 指導者の育成・活用

- スポーツを行う目的は、体力づくりや友人・仲間との交流や美容・ダイエットなど様々であり、また年代によって志向が多様であるため、ライフスタイル・ステージに対応した指導者の養成確保に努めながら生涯学習人材バンクの拡充、指導者講習会や研修会への派遣を促進していきます。
- 中学校部活動の地域移行を見据え、指導者の確保と資質向上のための研修機会の充実に努めます。

(4) スポーツ人口の底辺拡大

- 体育協会やスポーツ団体と連携しながら全県規模以上の大会を招致しスポーツに親しむきっかけづくりを促進します。また、県内にはプロスポーツや日本リーグ等で活躍しているチームがあり、そのアスリートが直接指導することでスポーツ愛好者の増加や次世代アスリートの発掘・育成につなげることができるスポーツ教室、イベントの開催を企画検討します。
- 健康寿命の延伸に向けた効果的な運動やプログラム策定を検討するとともに、スポーツへの無関心層に対し、興味・関心を喚起するための取り組みを進めます。また、スポーツ活動は継続しなければその効果を維持することは難しいとされており、運動を日常的に行うことができるよう意識の啓発を図ります。

(5) 障がい者スポーツの推進

- 障がいのある方にとってスポーツは、積極的な自立と社会参加を促進するうえで大変重要です。今後も、障がいのある方が心身の健康の維持・増進、心理的安定、楽しみづくり、仲間づくりや社会参加など、生きがいと潤いのある豊かな社会生活を送れるようスポーツ施設の整備や教室、イベント等を開催しスポーツ参画の促進を図ります。

(6) 事業推進の連携・協力

- 行政において「体力づくり」「健康維持・増進」の取り組みは、その目的や対象者によって福祉保健部及び教育委員会において個別に開催していることから、より一層連携を強め事業の推進を図って参ります。
- トイレクかたがみは、本市の防災・健康拠点施設として健康推進事業に大きく貢献できることが期待されています。施設の専門スタッフを中心に「健康・体力づくりの知識や啓発」に努めます。

3 スポーツを通じた地域づくりと交流人口・関係人口の拡大

【現状と課題】

国・県においては、スポーツの持つ多様な力を活用し、地域への経済効果の創出や雇用の拡大等の「地域経済の活性化」を促進し、交流人口・関係人口拡大を図ることを推進しています。

本市においても、今後も人口減少が続くことが予想され、交流人口の拡大をもって地域の活性化を促進することが求められています。

【施策の展開】

(1) 地域資源を活用したスポーツイベント等の開催

- 自然環境や食・文化等の地域資源を活用し、市外・県外からの誘客につながるイベント等を開催します。
- 地域の観光と組み合わせたスポーツ活動の掘り起こしを行い、観光と連携したスポーツツーリズムの取り組みを展開します。

(2) トップスポーツチームとの連携・協働の促進

- プロサッカーチーム「ブラウブリッツ秋田」とのホームタウン協定に基づき、選手との交流イベント等を開催し、スポーツ参画人口のすそ野の拡大を図ります。
- トップスポーツチームと連携した地域密着活動として、スポーツ教室による指導や、スポーツ観戦機会を創出し、競技力の向上と応援機運の醸成を図ります。

4 競技力向上をめざす選手の育成・強化

【現状と課題】

潟上市で育った選手が、国際大会や全国大会で活躍する姿は、市民に夢や感動を与えるだけでなく青少年のスポーツに対する意識を高めます。

競技力の向上にあたっては、ジュニア期からの一貫した指導体制が重要であることから、スポーツ少年団から中学校部活動、高等学校部活動へと継続的にスポーツ活動ができる体制や環境づくりが必要です。また、コーチングなどの実践力を備えた指導者の確保が重要であり、トップアスリートが高度な技術や経験を伝えながら指導することは競技力向上だけでなくスポーツへの関心・意欲を高める効果をもたらします。

しかしながら、少子化によりスポーツ少年団や運動部活動の休廃止が進み、児童・生徒の活躍の機会が減少しているほか、競技人口も減少する傾向にあります。

【施策の展開】

(1) ジュニア層の選手育成

○ジュニア期においては、年齢や体力、目的に応じて、指導者から適切な指導を受けられる環境が求められており、小学校から中学校、高等学校といった成長に合わせた指導体制が望ましいため、競技団体や学校などの関係機関と連携しながら、指導体制の確立に努めます。

(2) 競技選手の強化

○上位大会で活躍できる選手を育成・強化するため、本市体育協会及び競技団体が行う各種育成強化事業等を支援します。

○安心してスポーツに親しめるよう、スポーツの事故防止などに関する研修会を開催し周知啓発に努めます。

○体育協会では、スポーツの普及・振興と発展に功労があったスポーツ関係者や競技成績が優秀であった選手・チームについて表彰を行っており、選手にとって励みになっています。今後もこれらの取り組みを継続します。

5 スポーツ施設の適切な管理運営

【現状と課題】

本市の屋内体育施設は、天王総合体育館をはじめ、大規模な施設から中規模施設まで、そのほとんどが築30年以上経過しています。また、これらの体育施設は避難所としての機能も有しており耐震対策が必要となります。

これらのスポーツ活動を支える体育施設は、利用頻度の差はあるものの、建設時から30年以上経過している施設が多く老朽化が見られるため、計画的な改修整備が必要となっています。

地域によっては人口の増減や世代構成等の変化も見込まれるため、状況変化や市民のニーズに合わせた適切な維持、補修や既存施設への統廃合を進める必要があります。

【施策の展開】

(1) スポーツ施設の整備・充実

○誰もが安全で快適にスポーツに親しめる環境や日常的に行われるスポーツ活動の場を確保するため身近なスポーツ施設の維持整備に努めます。

○市民が安全にスポーツ・レクリエーション活動に親しめる環境をつくるため施設のバリアフリーや耐震化等の安全対策を進めます。

(2) スポーツ施設の再編

○本市は、旧町時代において同時期に類似した施設が整備されていたこともあり、機能が重複又は地理的に集中している施設は、利用状況や地域のバランスなどを総合的に勘案し再編や統廃合を進めていきます。

○体育館などの施設については、集約化や指定管理制度の導入を検討し維持管理費の削減に努めながら、柔道場や剣道場、その他体育施設は、立地条件等をふまえ各関係機関への管理移管を含め見直しを進めていきます。

(3) 学校体育施設の有効活用

○学校体育施設の有効活用が図られるよう、施設の利用形態、管理運営等について、学校現場との連携により、利用の拡充を検討していきます。

スポーツ施設の利用状況（平成30年度～令和4年度）

単位（人）

施設名	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
(体育館)	60,989	54,777	42,019	36,720	45,880
天王総合体育館	25,829	19,037	14,774	18,020	23,525
天王B&G海洋センター	11,366	10,088	10,134	1,512	4,926
昭和体育館	14,729	13,534	11,957	13,446	12,586
飯田川体育館	9,065	12,118	5,154	3,702	4,843
(武道館)	26,406	22,772	21,615	10,594	15,837
天王剣道場	8,098	5,515	6,540	1,028	3,826
天王柔道場	5,981	4,208	6,470	20	2,280
天王相撲場	0	0	—	—	—
昭和武道館	1,995	2,785	621	1,773	971
飯田川ふれあいスポーツ会館	10,332	10,224	7,984	7,773	8,760
(野球場)	24,820	27,675	13,035	18,210	23,851
長沼球場	13,999	17,603	7,926	11,339	14,548
天王一向球場	1,341	1,315	1,022	1,121	1,395
天王湖岸球場	967	1,007	463	1,299	968
元木山球場	5,501	5,306	1,835	2,670	5,059
飯田川グラウンド	2,476	1,779	1,289	1,161	1,441
野村多目的運動公園	536	665	500	620	440

(陸上競技場)	37,378	35,547	26,124	29,519	26,827
鞍掛沼(陸上競技場・フットボールセンター)	31,407	30,826	23,764	24,681	23,678
元木山陸上競技場	5,971	4,721	2,360	4,838	3,149
(グラウンドゴルフ場)	41,117	39,981	34,468	33,982	31,781
天王多目的健康広場	30,465	30,272	28,398	28,917	26,380
飯田川二荒山グラウンドゴルフ場	10,652	9,709	6,070	5,065	5,401
(プール)	6,399	5,349	0	135	6,464
天王 B&G 海洋センター	3,265	2,655	0	0	4,281
飯田川 B&G 海洋センター	3,134	2,694	0	135	2,183
(テニスコート)	2,260	2,230	1,274	1,361	1,296
天王中央庭球場	1,118	1,105	1,169	1,264	1,022
長沼テニスコート	0	0	0	0	0
天王緑の健康広場	1,142	1,125	105	97	274
(その他体育施設)	13,931	11,024	9,756	7,823	7,832
長沼球技場	3,936	2,765	808	769	716
昭和介護予防センター	9,493	7,464	8,578	7,054	7,116
天王海洋センター艇庫	352	654	370	0	0
上二田運動広場	150	150	0	0	0
昭和交流センター	0	0	0	0	0
合計	213,300	199,355	148,291	138,334	159,768

第4章 計画実現に向けた推進体制

1 推進主体の役割

本計画を推進していくためには、市民やスポーツ関係団体、市の役割を明確にし、相互の連携や協働を図りながら、一体となってスポーツ推進をしていく必要があります。

(1) 市民の役割

- 健康や体力づくりに興味や関心をもち、さまざまなスポーツ活動に積極的に取り組みます。
- スポーツに関する地域行事に参加し、地域コミュニティを活性化させるとともに、スポーツボランティアとして積極的に協力します。

(2) スポーツ関係団体の役割

- スポーツが市民生活や地域社会において果たす役割の重要性を重視し、スポーツ推進に積極的な役割を担います。
- 優れた指導者や審判員の確保・育成を図り、日常スポーツの底辺拡大や競技レベルの向上に努めます。
- 体育協会や総合型地域スポーツクラブとの連携を図り、スポーツ教室やイベントを開催し、市民がスポーツに親しむ機会の提供に努めます。

(3) 市の役割

- 国や県のスポーツ事業を参酌しながら、市の各種計画（第2次潟上市総合計画後期基本計画・潟上市公共施設等総合管理計画）によるスポーツ施策の総合的な取り組みを推進します。
- 本計画を広く周知し、スポーツに対する市民の関心と理解を深めます。
- スポーツの情報収集、分析、提供を行います。
- 市民やスポーツ関係団体との連携を密にして協働でスポーツ振興に取り組みます。

2 計画の進捗状況の検証と計画の見直し

本計画を着実に推進するためには、絶えず進捗状況の検証を行い、必要な施策を講じるとともに、検証結果を4年後の見直しに反映させることが重要です。

そのためには各施策の妥当性を含めて現状を検証することが必要であり、計画内容の見直しにあたっては、社会情勢やスポーツ界の動向などをふまえて効果的な改善方策を検討していきます。

資料編

1 生涯学習・スポーツに関する市民意識調査の実施

「第4次潟上市生涯学習推進計画」（案）について、以下のとおり市民意識調査（アンケート）を実施しました。

1 意識調査の概要

（1）調査期間

令和4年7月1日（金）から令和4年7月29日（金）

（2）調査対象

潟上市在住の18歳以上の方（無作為抽出）2,000名

（3）調査方法

調査票の郵送

（4）回答方法

返信用封筒での返送及びweb回答

（5）回答人数

759名（紙：645／web：114） 回収率38%

